



所 管	教育委員会事務局社会教育課		
担 当	伊東 将昭	問い合わせ	0573-26-6853

報 道 機 関 各位

先人顕彰拠点施設の整備について

市では、岩村地域自治区運営協議会からの提言を受け、旧岩村振興事務所を先人顕彰の拠点施設として活用するよう検討を進めてきました。

この度、建物1階部分を中心に（仮称）佐藤一斎記念館や恵那市図書館分館などを整備するための改修工事を行います。「まなぶ」拠点施設として、先人や図書などを通じて市民の皆様及び観光客の皆様にも利用される施設とします。

そのための事業費を、6月補正予算に計上するのでお知らせします。

記

1. 建物概要

- (1) 場所 旧岩村振興事務所庁舎（恵那市岩村町 545 番地 1）
- (2) 面積 敷地面積 8600.73 m²、延床面積 3280.98 m²、建築面積 1805.27 m²
- (3) 構造 R C 造（地上 2 階・地下 1 階）
- (4) 建築年 昭和 61 年（築 37 年）
- (5) 経緯
 - ・平成 16 年 10 月の市町村合併以前まで、岩村町役場として機能
 - ・合併以後、岩村振興事務所として機能。平成 26 年 11 月まで、教育委員会事務局を併設
 - ・平成 29 年 7 月に、岩村振興事務所機能が岩村コミュニティセンターに移転
 - ・令和 6 年 3 月まで、岩村休憩所として 1 階を主に観光客の休憩施設として開放し活用

2. 主な整備内容

- (1) （仮称）佐藤一斎記念館（1 階西側部分）
 - ・郷土の先人佐藤一斎の教えを、全国へ伝える展示体験施設を整備します。
 - ・佐藤一斎の教えを体感できる施設として、シアター、対話式 A I コーナー、言志四録の条文を展示解説するコーナーなどを配置します。



(2) 恵那市図書館分館（1階東側部分）

- ・中央図書館の分館として整備します。恵南地区における読書活動の普及拠点とします。
- ・蔵書に特徴を持たせると共に、音楽や会話を楽しんだり、飲み物を飲みながら読書したり、多様な読書スタイルを可能にする施設とします。



(3) 受付・ショップ、セミナールーム、スタディールーム（1階中央部分）

- ・ショップでは、佐藤一斎をはじめ先人関連のグッズなどを販売します。
- ・2面がガラス張りのセミナールームでは、佐藤一斎の教えを伝える講話やワークショップなどを開放的な雰囲気で開催します。



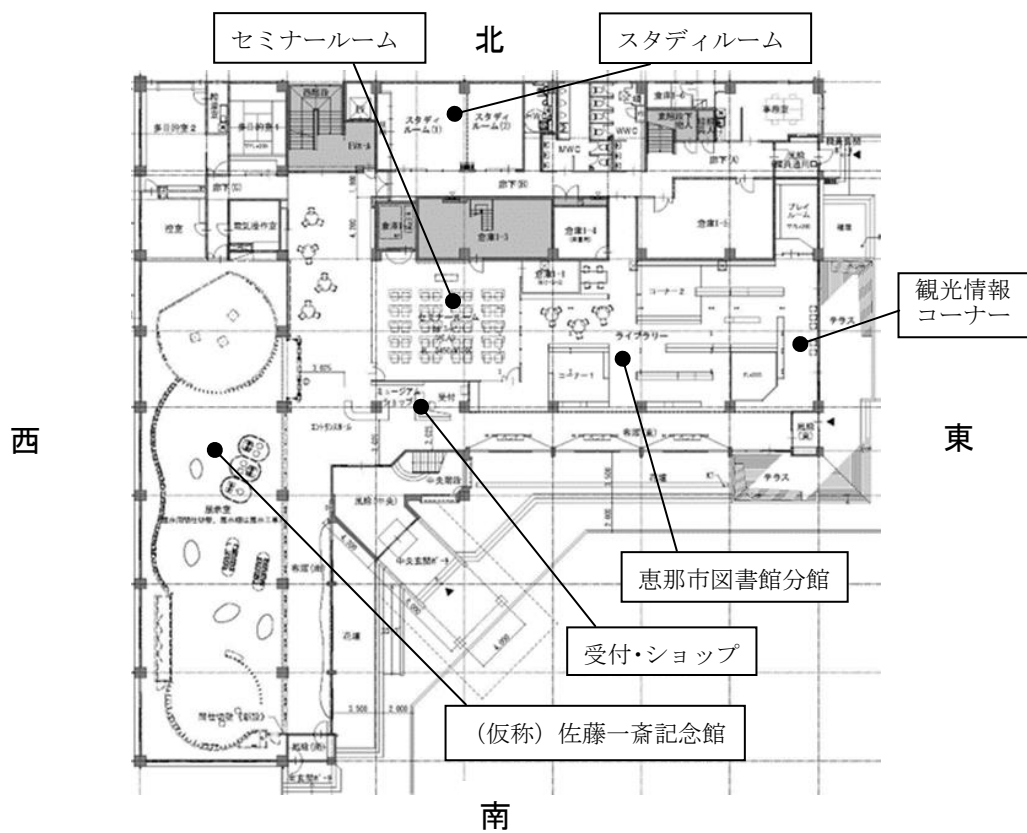
(4) 観光情報コーナー（1階東側部分）

- ・岩村城下町内の施設や店舗の情報を中心に発信します。
- ・城下町の入口部分として城下町への誘導、消費喚起を促します。

(5) 外構など（玄関ポーチ、テラス、駐車場）



(6) 1階レイアウト





3. 施設の位置づけ・効果

(1) 位置づけ

「まなぶ」拠点施設として4つの「まなぶ」を実現します。

- ①ふるさとの先人に「まなぶ」…(仮称)佐藤一斎記念館
- ②ふるさとの歴史文化に「まなぶ」…(仮称)恵那市歴史資料館
- ③本に「まなぶ」…恵那市図書館分館
- ④自ら「まなぶ」…セミナールーム、スタディールーム

岩村城跡や岩村城下町との調和を生み、地域の特性を生かした「まなび」を体感する施設とします。(仮称)恵那市歴史資料館は次期整備として計画しています。

(2) 効果

- ①先人や歴史文化を通じて市民の郷土への愛着と誇りを育む。
- ②より身近に読書に親しみ、豊かな感性を育む。
- ③新たな観光の目的として「知的観光」を展開する。
- ④まちづくり活動の推進や交流関係人口の増加に寄与する。

上記効果を生み出すことで、地域活性化につながり持続可能な社会の実現に貢献します。SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」を実現します。

4. 整備スケジュール(予定)

令和6年7月～令和7年8月 整備工事

令和7年10月 先人顕彰拠点施設オープン

※施設オープンまでに、PR活動やプレイベント、内覧会などを開催予定

5. 6月補正予算

歳入 567,700 千円(公共施設等適正管理推進事業債)

歳出 630,884 千円(先人顕彰拠点施設整備事業(学びの継続))